

あの時立てなかった全国の舞台へ

硬式野球部 全日本大学野球選手権ベスト16



ホームランを打ち笑顔でダイヤモンドをかける武田選手。6月11日、明治神宮野球場、宝本拓夢撮影

全国の高校球児が目指す舞台が「甲子園」ならば大学野球で選手が目指すのは「明治神宮」だろう。

2020年、日本国内で新型コロナウイルスの感染が拡大した。その影響は高校野球にも広がり、第92回選抜高等学校野球大会と第102回全国高等学校野球選手権大会が中止となった。たった一つの目標さえも失った、多くの高校球児は涙をのみ、途方にくれた。

その高校球児たちは現在大学4年生になり、違う形で全国の舞台を目指している。それが全日本大学野球選手権大会だ。

関西学院大学体育会硬式野球部はこの大会につなげる関西学生野球連盟春季リーグ戦で激闘の末6季ぶり16回目の優勝を飾り、出場を決めた。4年生の部員はあの時立てなかった全国の舞台に4年越しに主役として出場する。我々新聞総部は現地の明治神宮野球場で本大会初戦の取材を行った。

6月11日、東京都新宿区の明治神宮野球場で行われた第73回全日本大学野球選手権大会2日目の1回戦第2試合に出場した。

関西学生野球連盟の代表として出場した関学大は東京新大学野球連盟の代表、共栄大学を相手に2対1で勝利した。

太陽が照りつける快晴の中、始まった試合、関学大は初回から動きをみせた。死球から犠打でつなぐなど2死三塁のチャンスで打者は山本晃也選手（社会学部3年）、左前へのタイムリーで幸先よく先制した。三回には先頭の武田大遥選手（商学部4年）が右本塁打で貴重な追加点を奪った。

投げたのは先発の飯田泰成選手（人間福祉学部2年）が広いフィールドデイングと緩急を駆使し、六回2奪三振無失点と快投を披露。七回以降は継投に入った。七回に三連打などで1点を返され、なお2死満塁を作られたものの、後を

受けた3番手の溝口雄大選手（法学部4年）が二ゴロに打ち取りピンチを脱した。その後も続くバッターを溝口選手が抑えリードを守り切った。

試合終了後、武田選手は「自分の結果よりもチームの勝利が欲しかった」とコメント。リーグ戦では日替わりでヒーローを出したチームの雰囲気を実行した。

初戦の勢いのまま関学大は翌日の2回戦、首都大学野球連盟の代表、帝京大学との試合に臨んだ。

初回に相手から先制となる2点タイムリーを浴びたものの、二回に無死一塁から馬場和輝選手（国際学部4年）の左本塁打で同点に追いつき、三回には1死三塁で西井大貴選手（社会学部4年）、センタリーへの犠飛で勝ち越した。しかし六回に犠飛で同点に追いつかれ、3対3の九回、2死三塁でセンタリーへの三塁打で勝ち越しを許した。その裏には2死二塁のチャンスを作ったものの最後は一直、3対4で惜しくも敗れた。

結果はベスト16で敗退となったものの、全国の舞台の初戦、選手たちは終始試合を楽しんでいるようだった。『ずっと好きだからやれてきた野球、大きな壁を乗り越



第47回
総合関関戦
開催

6, 7面



産経新聞記者
山田耕一さん

8面



この日活躍した3選手、左から武田選手、飯田選手、溝口選手。6月11日、明治神宮野球場、宝本拓夢撮影

えたその景色は何にも代えられない。次は秋の明治神宮野球大会。選手たちは再び同じ舞台上上がり、優勝という頂の景色を目指していく。

（久保田創士）

活躍選手のコメントー

溝口選手

「4年越しの全国の舞台でのピッチングを終えて、」

「ありがたい。幸せな野球人生だと思いつつピッチングだった」

飯田選手

「先登板で意識したことについてー」

「三振を取りに行くというよりはしっかりとコースに投げ、打たせてリズムよく投げることを意識した」

武田選手

「大会チーム初本塁打を打ったことについてー」

「自分が一番びくびくしている。一番良い結果になって良かった」

先日、関西学院大学は保証人に向けて成績資料と共に学生の生活態度に関する文書を送付した。近頃関学生の通学態度が悪化し、周辺住民からの苦情が相次いでいる。苦情の内容は次の通りだ。道に広がって歩き、対向車が来ても避けようとしめない。ぶつかっても謝らない、逃げる。自転

車・原付バイクによる無謀運転、道路交通法違反。苦情の内容に身に覚えがある学生が多いのではないかと、関学大は2023年に王子公園への大学誘致に応募し、優先交渉権者に決定した。しかし、7月に市民グループが応募取り下げを求め、関学大に署名を提出した。市民グループが大学移転に反対する理由は、市民プールなどの既存施設の閉鎖、学生のマナー違反による生活環境の悪化などである。西宮上ケ原キャンパスや神戸三田キャンパス近くの住民に

多大な迷惑が掛かっている以上、王子公園周辺の住民が移設に反対するのも当然だ。私たち学生は当たり前のように大学で活動している。しかし、それが周辺住民や利害関係者の協力があつてのことだという事実を忘れてはならない。登校マナーが改善されなければ、関学大は活動の幅が狭まるだろう。さらには、関学大の印象も下がりがねない。関学大は生活態度を改善すべきだ。注意喚起の文書が保証人のもとに届かない日が来ることを願う。

就職活動に「情報力」

ブンナゼ! 2026 文化放送就職ナビ



読売新聞

学生のためのラーメン 「らあ麺たか和」オープン

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス新学生会館地下1階に4月8日、「らあ麺たか和」がオープンした。「らあ麺たか和」は15年間上ヶ原三番町に別店舗を構えており、

新学生会館の長らく空き店舗となっていたスペースに新店舗として入る形となった。

「15年間経営していたが、ほとんど関学大関係者に支えられてきた。そう語るのは店

主の高和裕二さん(48)だ。

高和さんは関学大関係者の力になれることがあればと考え、新学生会館への出店依頼を受け入れた。

「らあ麺たか和」の特徴は「こく旨」と「あつさり」の大きく風味の異なる2つのラーメンだ。ラーメンの種類を増やすのは簡単だが、クオリティを保つのは難しい。高和さんは「それでも皆に喜んでもらうためにあつさりとしたラーメンもやろうと考えた」と語った。

店内で特に目を引くのはトッピングのセルフサービスだ。モヤシやネギ、キクラゲなど種類豊富なトッピングを好きなだけ載せることができる。このサービスは以前店舗に存在したカフェのサラダバーから着想を得て取り入れたものだ。自分好みにトッピングできる仕組みは客の満足度に繋がっている。

「らあ麺たか和」は現在3店舗を構える中、関学店にのみ店名に「餃子」の文字はな



同店の「こく旨」ラーメントッピングの例(5月14日、新学生会館 恵良八広撮影)

卒業式企画を展開

「学生生活を振り返ってほしい」

関西学院大学広報室は3月、2023年度秋学期の卒業生に向けた特別企画「Soar toward the future」を展開した。企画では、阪急神戸線、宝

塚線、京都線の車内に関学大の卒業生へのメッセージを載せた広告を掲載した。メッセージは関学大のOB・OGや後輩などから募集したもの

例年行っている卒業生企画。広報室は毎年その学年にとって最も相応しいメッセージは何かを考えている。

2023年度卒業生は大学生活の大半をコロナ禍に見舞われた。考察者である広報室の梁島稔さん(29)は、卒業生たちが厳しい状況下でも課外活動や勉学に真剣に取り組んだことを振り返ってもら

梁島さんは「孤独の中でも全てが暗かったわけではなく、何か明るいものがあったはず。それを見つめ直して欲しい」と企画に込めた思いを語った。また、完成した広告について「この広告をきっかけに学生時代の思い出を振り返る卒業生がいたらうれしい」と語った。(林諒太郎)

パン自動販売機設置 豊富な品揃え

関西学院大学は4月、西宮上ヶ原キャンパスの旧学生会館出口にパンの自動販売機を設置し、販売を開始した。

近年、西宮上ヶ原キャンパスでは昼休みに昼食を買い求める学生や職員で生協食堂、購買が混雑する事態が発生している。

また生協の営業時間が限られているため、クラブ活動や夜遅くまで図書館を利用する学生などがキャンパス内で食品を購入できないケースが見られる。

関学大はパンの自動販売機を設置することによって、混雑の解消と食品販売時間の延長を図り、学生の利便性を向上させることを目指す。

パンの自動販売機では購買とは異なる種類のパンを販売している。カウンターを介さず迅速に購入できる点では利便性を重視しつつ、メニューが豊富な点では独自性を狙った。

西宮上ヶ原キャンパスに先行してパンの自動販売機を設置した西宮聖和キャンパスでは、多くの学生や教職員に利用されており、売れ行きも好調だ。

関学大総務部総務課の村上芳秀さん(31)は「関学大はこれからもパンの自動販売機設置などを通じて学生のキャンパス生活における選択肢を広げていきたい」と語った。

パンの自動販売機はキャンパスを利用する学生が多い授業期間中に営業する予定だ。(前川勇)

生協総代会開催

―より良い大学生活を目指して―

が参加した。

開会式後、事業報告や議案の提案に次いで大学生協の活動への要望を参加者間で話し合う機会が設けられた。出席した総代と傍聴者で6人1組の計10班を組み、要望を班内で共有・集約後、全体に発表した。

キャンパスや学部が違えば当然不便に感じる点も異なる。学生の意見の中では大学生協が運営する食堂の混雑解消やメニューの追加、生協ア

プリのPayPay電子マネー化を求める声が多くを占めた。

発表された意見に対して斉藤和久事務理事(46)は「大学生らしい意見」と口にし、学生の真摯な主張を聞いたことに満足気な様子で回答した。斉藤理事は大学生協の実情を述べつつ、どの提案であれば対応可能か言及し、最終的に「活動の参考にした」と総括した。

今回の総代会は、すべての移行行く時代の中、学生の求めるものは絶えず変化している。大学生協は組合員のための組織だ。重要な構成員である学生自身が主体的に大学運営へ参加することが、より良い学生生活への一歩となるだろう。(山本一貴)



旧学生会館にあるパンの自動販売機(6月7日、西宮上ヶ原キャンパス旧学生会館、前川勇撮影)

Mastery for Service
羽ばたけ、世界市民

神戸市営住宅・兵庫県営住宅ほか
電気設備保全会社 畑中電気合同会社
〒653-0834
兵庫県神戸市長田区川西通5丁目107番地の8

国際学部木本ゼミ

日本酒ブース出店

店しており、今年で2回目となる。

日本酒を

カクテルに

関西学院大学国際学部の木本ゼミが5月19日、神戸市王子スタジアムで開催されたテールゲートパーティにて日本酒カクテルのブースを出店した。

テールゲートパーティとはアメリカンフットボールの試合前後のスタジアムでビールを飲んだり、バーベキューをしたりして観客同士で楽しむイベントだ。

本ゼミが取り組んでいるのは「日本酒振興プロジェクト」だ。灘五郷に代表される酒蔵を見学し日本酒業界の市場調査や課題点を学ぶフィールドワークを実施している。若者の日本酒に対する固定概念を払拭するために日本酒をカクテルにして飲みやすくした。

この日は関学大アメフト部（ファイターズ）と立教大アメフト部（ラッシュヤーズ）の東西大学交流戦が王子スタジアムで開催され多くの人が会場に訪れた。

本ゼミは前回4月20日も同様のイベントにてブースを出



ブースの様子＝5月19日、神戸市王子スタジアム、木下皓太郎撮影

献血実行委員会 春の献血週間を開催



献血受付中の献血実行委員会＝4月19日、西宮上ヶ原キャンパス中央芝生横アクト、木下皓太郎撮影

Re.colab KOBE サツマイモ植え付け体験

関西学院大学の学生を中心とする団体Re.colab KOBEが5月25日、神戸市北区に所在するファームにてサツマイモ植え付け体験を開催した。

参加者はファーム内を探検したり、苗を植え付けるだけでなく、植え付けに必要な作業である土起こしと畝たてを体験したりした。

土を起し、畝を高く立てることで土が柔らかく水はけが良くなり、さつまいもが育ちやすくなる。

当日は10人の学生が参加し、快晴の空の下で汗を流しながら体験を楽しんだ。体験に参加した濱森望さん

Re.colab KOBEとは？

（社会学部2年）は「自然に囲まれた場所でのフレッシュになった」と話した。

Re.colab KOBEは2021年に発足した学生団体だ。現在は50人程が所属しており、里山再生と農業をメインに取り組んでいる。

現在、以前耕作放棄地であった場所を管理し、様々な作物を有機栽培している。副代表を務める中原由香利さん（商学部2年）は「現在は若い世代が農業や環境問題について考えるきっかけ作りにも注力している」と話す。

412人が協力 気軽に献血を

関西学院大学宗教総部献血実行委員会は4月15日から19日にかけて、西宮上ヶ原キャンパスで春の献血週間を開催した。5日間で計412人が献血に協力した。

献血実行委員長の吉川花乃さん（文学部3年）は「若い世代に協力してくれる人が多く」と話した。

宗教総部副総部長の芦北

聖終さん（神学部3年）は「1年生がどうしたら献血に参加しやすいのかを考えながら開催した」と語った。

委員会は献血活動の参加者を増やすための工夫として、ビラを業者以外に注し、広告に力を注いだ。

杉本裕亮さん（兵庫教育大学3年）は友人を待たずに関西大を訪れたところ献血活動を知り、はじめて献血を行った。「誰かの命がこの献血で助かるならよかった」と献血への思いを述べた。

ボランティアEXPO ボランティアの魅力伝えたい

顔で話した。

ボランティア団体「災害コミュニケーションつむぎ」の話を聞いた国広大嗣さん（商学部1年）は「自分は現地に赴いてボランティアをしたことがない。つむぎは積極的な活動をしていて興味深かった」と語った。

「PENS」

ボランティアEXPOに参加した一般財団法人「PENS」は子供向けのキャンプ団体だ。明石、芦屋、舞洲で活動しており、神戸学院大学や神戸親和大学の学生も所属している。

PENSでは学生が主体となつて水族館でのイベントや夏キャンプ、雪遊びなど子供向けの企画を実施している。

PENSで活動する藤田正喜さん（文学部4年）は「PENSではパラグライダーなど特色ある活動もしている。アウトドアの良さを子供に伝える活動をボランティアEXPOで学生に紹介したい」と語った。（石本理子）



代表の大沢映介さん＝5月25日、神戸市北区、久保田創士撮影

廃部危機から奇跡の復活

能楽部新歓舞台

関西学院大学能楽部は4月17日、西宮上ヶ原キャンパス体育館前プラザで新歓公演を行った。演目は「西王母」と「経正」だ。

古代中国を舞台にした「西王母」では中尾舞優さん（総合政策学部4年）が能楽で主演を指す「シテ」を演じた。平安時代の武将である平経正をモチーフにした「経正」では熊谷朋也さん（法学部2年）がシテを演じた。

新入生を含む多くの観客が訪れ、新歓公演は大成となった。

能楽部は公演後、新学生会館3階の部室で新入生向けの楽器体験と部活見学を行った。指導を行ったのは現役の能楽師であり、能楽部の師匠を務める笠田祐樹さん（33）。関学大社会学部の卒業生だ。

笠田さんは新入生に能楽の用語を解説し、楽器の使い方を教えた。

楽器体験と部活見学をした森矢朔太郎さん（経済学部1年）は「新歓公演で興味を引かれて見学に来た。実際に能楽に触れてみるとすごく新鮮で、その深みを知れた」と語った。

能楽部は今年で113周年

の開成などの懸命な活動により、現在の部員は7人まで増加した。

中尾さんは能楽部の魅力について「多くの先輩に応援してもらいながら想いを込めた舞台をつくることができる。個性豊かな仲間と共に稽古を見て、声を合わせることはとても楽しい」と語った。

廃部の危機から奇跡の復活を遂げた能楽部。興味がある人は一度公演を見に行ってみてはいかがだろうか。

（山本麻衣子）



西王母を舞う中尾舞優さん
＝4月17日、体育館前プラザ、山本麻衣子撮影

ヴォーリス建築写真展

関学大博物館で開催

関西学院大学博物館は5月13日から7月13日までの2か月間、平楽展「ヴォーリス建築写真展『VOREIS TIME』」を開催している。

今回の展覧会はW・M・ヴォーリスの没後60周年と博物館の開館10周年を記念して

開催に至った。

展覧会では、写真家の桃井一至氏が撮影した全国各地のヴォーリス建築の写真を30点展示している。

展示作品の目玉は、アーティストの米津玄師が「Leon」のMVを撮影した場所でもある早稲田奉仕園スコットホルルの写真だ。他にもドラマのロケ地やアニメ作品のモデルとなった建物など、著名な建物の作品も展示されている。

建築写真は垂直であることや正対して撮影することが基本である。対して桃井氏は撮影時、最も魅力的な部分を見つめることを大切にしている。建物の雰囲気や空間観が

伝わるところが桃井氏の作品の特徴であり、彼自身が手がけた展示のレイアウトでその魅力はより引き立っている。

平常展を開催した目的として、関学大博物館学芸員の倉田麻里絵さん（34）は、「普段からヴォーリス建築に囲まれて過ごしていると、なかなかその魅力に気付かないかもしれない。改めて全国各地に魅力的なヴォーリス建築が沢

やグループワーク、小休憩に利用することができる。映画鑑賞やプレゼンテーションに活用できる150インチのスクリーンも備え付けられている。

文学部棟学生控室 リニューアルオープン

関西学院大学文学部棟の学生控室は4月4日、リニューアルオープンした。

以前の学生控室は古びた掲示板や机、椅子があるだけの殺風景な空間であった。今回、学生控室は緑あふれるおしゃれな空間として生まれ変わった。

文学部教職員はコクヨ株式

会社と連携し、学生が気軽に集える工夫を凝らした空間デザインに取り組んだ。各テーブルには電源タップを配備した。さらに、グループ使用に便利なモニターや、オンライン会議や作業に集中できる個別ブースも設置している。

スピーカーからは音楽が流れ、学生はカフェ感覚で学習話した。

今回の改装を経て、学生控室は文学部棟の新たな憩いの場になりつつある。萩原佑奈さん（文学部1年）は「学生控室にはリラックスできる音楽が流れていて勉強に集中できる。友達と談笑しながらご飯を食べることもできるためよく利用している」と笑顔で話した。

（宮崎結衣）



早稲田奉仕園スコットホール内観を撮影した桃井一至氏の作品＝6月11日、関西学院大学博物館、今村早織撮影

温水プール

6月の一般開放始まる

スポーツ振興・統括課は5月22日、関学生に向けて6月の温水プール一般開放予定日をkwic上で発表した。

温水プールの開放は毎月3～4回ほど午後5時20分から午後7時20分までを予定している。利用希望者は当日午後3時までに届け出をスポーツ振興・統括課に提出する必要がある。

スポーツ振興・統括課は翌月以降の温水プール一般開放日について、毎月20日以降のkwic上で通知並びに学生会館や事務室前の掲示で学生に告知している。

一般開放された温水プールは幅広い学生が利用しており、専任教職員も利用可能だ。



一般開放されている温水プール＝5月31日、温水プール、石岡孝憲撮影

2024年度春期入学式

6238人入学



入学式の様子Ⅱ4月1日、西宮上ヶ原キャンパス、石本理子撮影

関西学院大学は4月1日、2日に2024年度春期入学式を挙行了。1日は西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田の3キャンパスにある10学部、2日は社会学部、法学部、文学部、商学部の4学部の新入生が出席した。2024年度に入学した学部生は6238人だ。

関学大は入学式に参加できない人に向けて、YouTubeで式典の様子をライブ配信した。

森康俊学長は式辞でバブル崩壊から現在までの日本経済に触れ、「時代を大きく俯瞰してみるパースペクティブを身につけてほしい」と新入生

を激励した。

中道基夫院長は「関西学院でMastery for Serviceを身につけた世界市民へと成長することを期待している」と言葉を贈った。

新入生の福重穂希さん（文学部1年）は関学大のオープンキャンパスを訪れた際に魅力を感じ、関学大を受験した。母親の由香さん（48）は「良い友達と楽しい大学生活を送ってほしい」と娘にエールを送った。

商学部1年生の男子学生は「資格をいろいろ取って就職に活かしたい」とこれからはじめる学生生活への意気込みを語った。（石本理子）

マ ス ピ



この物語の主人公、二ノ宮こと葉は会社員として気楽で平凡な日々を送っていた。そんなある日、こと葉は幼馴染の結婚式で人の心を鷲掴みにする感動的な祝辞に出会う。それは「伝説のスピーチライター」スズキ久美の祝辞だった。祝辞に心奪われたこと葉は久美に弟子入りすることを決め、言葉の世界に足を踏み入れる。

こと葉は久美から教えを受けながら数々のスピーチを書いていく。そして、ついに政権交代を目指す野党のスピーチライターに抜擢される。人間づく、少し愉快で、人の

春プラザ、 音楽の風をキャンパス中に

4月25日の昼休み、西宮上ヶ原キャンパス中に熱いギターの音色が響き渡った。音の正体は関学公認軽音サークルである上ヶ原エコーグループのプラザライブである。

総合体育館前のプラザでは毎年4月から5月にかけて、新入生歓迎の意を込めて様々な団体がパフォーマンスを行っている。上ヶ原エコーグループもその一つであり、今年は3回の新歓ライブを行った。

栄えある第1回目のライブはMy Hair is Badのコピーバンドである。メ

ロディアスな要素を多く含む音楽が特徴で、若い世代からの人気を得ているバンドだ。観客の中には交換学生と思われる学生の姿も多く見受けられ、リズムに合わせて楽しげに体を動かしていた。

例年上ヶ原エコーグループは主にSNSを通じた広告活動を行っていたが、今回は加えてキャンパス内の掲示板を利用した宣伝活動を行った。その結果たくさんの人がプラザライブに集まった。

ギターボーカルを務めた南遊羽さん（工学部3年）は「関学大には私たちの他にも

一学内最大の国際交流イベント開催

COFFEE HOUR



交流を深める日本人学生と留学生ⅡCIEC提供

「学内の グローバル化 推進へ」

関西学院大学国際教育・協カセンター（CIEC）は4月24日、関西学院会館レセプションホールにて国際交流イベント「コーヒーアワー」を開催した。

コーヒーアワーは関学大の日本人学生と留学生の親睦を深めることを目的としたイベントだ。西宮上ヶ原キャンパスと神戸三田キャンパスで各学期1回ずつ開催している。参加者はグループに分かれ、CIEC公認の学生団体「G-net work」主導のもと、ドリンクを飲みながらゲームや会話を楽しみ交流の輪を広げていった。ゲー

秋学期卒業式

関西学院大学は3月18日と19日の2日間にかけて、西宮上ヶ原キャンパス総合体育館で秋学期大学卒業式を開催した。

18日は理工学部をはじめとする6学部、19日は社会学部など5学部の式を行った。昨年に引き続き、式には保証人の参加が認められた。

祝辞で森康俊学長は、新型コロナウイルスの流行による入学式の延期や、オンライン授業への切り替えがあったことに触れ、「皆さんが本学で学んだ日々はどれも特別な4年間だった」と振り返った。続けて、「こうした逆境の中で巡り合った出会いを大切に、今後の人生の歩みを進めてもらいたい」と卒業生に激励の言葉を贈った。

コロナ禍での4年間の学生生活に関して、4月から東京で働く本多真一郎さん（社会学部4年）は「最後の学生生活で入学式が行えなかったこと、オンライン授業だったことは心残りだが、ゼミや授業

ワに携わっている国際連携機構事務部の姜安娜さん（32）は「コーヒーアワーは国際交流に関心はあるが、一歩を踏み出せないでいる学生でも気軽に参加できるイベントだ。今後もコーヒーアワーを通じて、学内のグローバル化を推進していきたい」と関学大におけるコーヒーアワーの意義について語った。

（松浦颯太郎）

でのグループワークはとても刺激的だった」と語った。関学大は式に参加できない人も式を見られるよう、動画投稿サイトYouTubeで式の様子の生配信を行い、多くの人が卒業生を祝福した。

（久保田創士）



校歌空の翼を歌う卒業生たちⅡ3月19日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス総合体育館、石本理子撮影

第 47 回総合関関戦

関学大 24 度目の総合優勝



準硬式野球部

コールド勝ちの完勝

関西学院大学体育会準硬式野球部は、関西大を相手に14対2（大会規定により五回以降10点差コールド）で完勝した。

フレッシュなメンバーで臨んだ関学大は、一回表の攻撃、2死から石本泰誠選手（法学部2年）が右翼線に強烈な三塁打でチャンスを作り、捕逸の間に先制した。しかしその裏、関西大も犠打や2本の安打で2点をとり、関学大は逆転を許した。

反撃したい関学大は三回、四球や右前打などで1死三塁のチャンスを作り打者は荒井優真選手（社会学部1年）、遊安打で同点に追いついた。

五回には2死三塁で横田那音選手（商学部2年）の左安打で勝ち越しに成功した。勢いに乗った関学大は六回には4安打9四死球と打者一巡の猛攻、1イニングで11点を奪った。投手陣は6イニングを3投手が危なげなくつないだ。初回に2失点をしたもの、一回以降は関西大打線を無安打に抑え、三塁を踏ませなかった。

試合終了後、この日3安打猛打賞の活躍をみせた石本選手は「自分が引っ張っていいこうという気持ちで臨んだ。チームを勢いづける当たりが打ててよかった」と力強く語った。（久保田創士）



適時打を打ち塁上で喜ぶ横田選手。6月16日、関西大学千里山KAISERSBASEBALLFIELD、久保田創士撮影

剣道部

前年に引き続き勝利を飾る

関学大は7勝5敗8引き分けで関西大に勝利した。

試合形式は1試合4分3本勝負の団体戦で、男女計20試合の勝数の合計で勝敗が決まった。剣道部は去年の関関戦に引き続き勝利を重ねた。

試合では互いが相手の隙を狙い、高度な打ち合いが繰り広げられた。向井崇真選手（法学部3年）は1本目で相手選手に面を取られたものの後に2本連続小手を決め、勝利し意地を見せた。岡田悠輝選手（商学部4年）は相手選手の隙を見逃さず、面で1本を取り守り切って勝利した。選手たちの奮闘により関学大は着実に勝数を積み重ねた。

女子主将の繁田怜花選手（文学部4年）は「チーム一丸となって戦えてよかった」と今回の関関戦の試合を振り返った。

統括主将兼男子主将の森島孝介選手（経済学部4年）はこれからの試合について、「それぞれの課題を見つけたら不足している技術を身につけたりして次の大会に挑みたい」と部全体の心意気を語った。（田川翔）

「鋭いスマッシュや機敏な動きで試合を支配し、シングルでストレート勝利を収めた岡田啓太郎選手（経済学部3年）は試合終了後、自身の試合を振り返り、「チームに流れを持っていく試合ができたと思う。積極的なプレー、ミスの無さが良い試合展開につながった」と語った。

また、関関戦という舞台で選手たちもより試合に力が入っていた。試合を終えて、「みんなのために何が何でも勝利したかった」と岡田選手は安堵の表情を浮かべた。（玉本拓夢）



相手選手の面を打つ渡邊選手。6月15日、関西大学千里山中央体育館1F サブアリーナB、山本一貴撮影

硬式野球部

関西大との接戦を制す

毎年開催し、関学大と関西大が戦う伝統の「関関戦」。

4年生メンバーで臨んだ関学大は4対2で接戦を制した。両校応援団のエネルギー交換から始まった試合は小倉璃功選手（法学部4年）が登板。初回長打を浴び先制点をとられたものの、打者を打たせて取る投球を見せ、三回途中を1失点と粘りの投球を披露した。2番手以降は5人の投手が小刻みに継投した。

打線は0対1の四回に1死から連続安打で2死三塁のチャンスを作った。榎本凌之介選手（法学部4年）の二塁打で同点に追いつき、五回には勝ち越しに成功した。6回には一度同点に追いつかれたものの、七回にも四球と犠打などで1死三塁のチャンスを作った。打者は山下貴伸選手（社会学部4年）、打球は中前へのタイムリ、再び勝ち越した。



表に追加点を取った九回に連続四球で1死満塁のピンチを作ったものの、6番手で登板した森田彩介選手（総合政策学部4年）が2人の打者を外野フライに打ち取り、関学大は春季リーグ戦に続き関西大に勝利した。

試合終了後、勝ち越しタイムリーを打った山下選手は「この学年（4年生）を象徴するつながりを意識して打席に立った。打った瞬間は良い感触だった」と笑顔で語った。硬式野球部は関関戦での勝利、さらに全日本大学野球選手権大会への出場と勢いづいている。この勢いのまま、次は秋季リーグの優勝と秋の全国大会出場を目指していく。（久保田創士）

力投する森田選手。6月8日、関西大学千里山KAISERSBASEBALLFIELD、久保田創士撮影

関学大 競技名 関大

スキークラッシュ	●	アイスホッケー	○	サッカー	○	相撲	○	馬術	○	航空	○	陸上競技	○	水上競技	○	ボクシング	○	スキー競技	○
柔道	○	レスリング	○	バレーボール女子	○	バレーボール男子	○	ホッケー女子	○	ホッケー男子	○	ヨット	○	アメリカンフットボール	○	ラグビー	○	自動車	○
漕艇	○	射撃	○	アイスホッケー	○	硬式野球	●	準硬式野球	●	エキシション	○	テニス男子	○	テニス女子	○	ラクロス男子	○	バドミントン	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
バドミントン	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
バドミントン	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○
ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○
バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○
卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○
フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○
空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○
ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○
ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○	卓球	○	フェンシング	○	空手道	○	ソフトテニス	○	ハンドボール男子	○	ハンドボール女子	○	バドミントン	○

サーマルに乗って

航空部団体戦勝利

関西学院大学、関西大学の両航空部は5月11日から12日に福井県坂井市の福井空港で団体戦を行い、887対159で関西大に勝利した。個人部門では高坂駿吾さん（文学部2年）が優勝、石田倅汰さん（工学部3年）が準優勝を果たした。

大会初日のフライトは計6発で関学大と関大が交互に3発ずつ上空へ飛び立った。4発目のフライトで高坂さんが唯一一周回を達成し、650点を獲得。チームを勝利に導いた。

大会2日目は悪天候の影響で機体を上空に飛ばすことが困難であったため、フライトは中止となった。

高坂さんは「うまく上昇気流（サーマル）に乗ることができた。運に左右されることが多いが技術も必要だ」と述べた。

現在関学大体育会航空部は3年生1人、2年生4人の計5人と部員が少なく厳しい状況だ。主将の石田さんは「関大と

「グライダー」

競技って何？」

グライダーはエンジンなどの動力を用いず上昇気流を利用し長距離のフライトを可能とする航空機だ。グライダー競技は周回競技と滞空競技に大別できる。

周回競技は指定された地点をいかに早く回ることができるとして得点を競う。

滞空競技はどれだけ長時間上空に留まることができるかを競う。上昇気流をうまく乗ることができるとは連に左右されることが多く、競技として成立することができない場合もある。



航空部の集合写真 5月12日、福井空港、久保田創一撮影



関学スポーツ編集部提供

ラクロス部女子 快勝

関西学院大学体育会ラクロス部女子は、エキシビションマッチの形式で試合を行い、関西大に18対6で快勝した。関学大は序盤から攻撃的なプレーを展開し、幸先よく得点。第1クォーターに7得点を奪い、試合の主導権を握った。その後も得点を重ね、相手に流れを渡さなかった。

この試合で6得点の活躍を見せた寺谷凛花選手（商学部4年）は「アタック全員が関学大の強みである強気の二対一を仕掛けることができた」と充実した表情で話した。（森友紀）

ラクロス部女子は集客にも力を入れている。この日は太陽が照り付ける中、600人以上の観客が集まった。応援団総部チアリーダーのはつらつとした応援と吹奏楽の迫力ある演奏はより一層選手たちを後押しした。

試合を終えて濱田亜音選手（社会学部3年）は「自分たちの魅力を出していたいた多くの人に届けようという気持ちで試合に挑んだ。これから変わらぬ日本一を目指して頑張りたい」と力強く話した。（森友紀）



試合後の集合写真 同部提供

関学大硬式野球部 甲子園を舞台に連勝

関西学院大学体育会硬式野球部は5月11、12日に関西学生野球連盟春季リーグ戦第6節に出場した。開催場所は兵庫県西宮市の阪神甲子園球場だ。初日は関学大が延長12回を制し1対0、2日目は5対3で関西大に勝利した。

試合は関学大と関西大が戦う「関関戦」。注目の初戦は劇的な結末となった。

試合は飯田泰成選手（人間福祉学部2年）が登板。五回まで一塁を踏ませないテンポを落としてしまう。

庭球部男子部 惜しくも敗れる

関西学院大学体育会庭球部男子部は6月16日、関西大学千里山キャンパス第4学舎3号館の屋上にある空テニスコートにて、関西大学体育会テニス部男子との対抗戦を実施した。

気温が30度を超え強い日差しの中、ダブルス3試合とシングル6試合の計9試合の団体戦が行われた。

ダブルスで出場した増成拓也選手（文学部4年）と森岩新選手（社会学部1年）ペアは第1セットを6対4で先取した。

続く第2セット、ゲームカウント3対5で迎えた第9ゲームはこの試合一番の盛り上がりを見せるも、2回目のデュースで関西大ペアに連続ポイントを許しこのセット

の悪い打球を見せ、七回6奪三振無失点の好投を披露した。2番手で登板した薄口雄大選手（法学部4年）も五回3奪三振無失点に抑え流れを作った。

打線は走者を出すものの十一回まで得点を挙げることができなかった。しかし十二回裏、試合が動いた。代打の木村公信選手（人間福祉学部4年）が右前安打で出塁、次の打者が犠打でつないだ。1死一塁のチャンスに打者は6番岡井大貴選手（社会学部4年）、放った打球は左前へのサヨナラタイムリ、激闘の初戦を制した。

ラクロス女子 雨天中止 テニス女子 勝敗なし

合気道 古武道 ワンダーフォーゲル

試合終了後、両選手は「何としても1点をとりたいたい」という気持ちで打席に立った。皆がベンチから喜んで走ってきたくて嬉しかった」と笑顔で語った。

この試合で勢いに乗った関学大は第2戦も接戦を制し、関西大から6季ぶりに勝ち点を奪取した。（久保田創一）

と、このゲームは1ポイントも取れずブレイクされてしまった。結果このセットを4対6で落とし、セットカウント1対2で敗北した。

総合成績ではダブルス、シングル共に1勝もできず結果0対9で完敗した。

主将の増成選手は「競った場面であと1本取れなかった」と悔しさをにじませた。（木下皓太郎）



サービスをリターンする近藤選手 6月16日、関西大学千里山キャンパス空中テニスコート、森友紀撮影

奉安庫 今も関学大に

安置されている奉安庫Ⅱ5月14日、西宮上ヶ原キャンパス旧学生本部2階旧院長室、木下皓太郎撮影



日進月歩

太平洋戦争が終結して78年、戦前や戦中の記憶が風化しつつあるが、戦前の遺跡はまだ各地に存在している。戦前、日本では天皇皇后両陛下の肖像写真である御眞影や教育勅語の謄本を保管する奉安庫（奉安殿）を校内に設置するよう文部省が全国の学校に指示を出し、関西学院大学もその例外ではなかった。御眞影の下付は制度上学校から申請する形を取っていた。しかし昭和3年以降、国は申請に消極的だったキリスト教系の学校に対しては下付申請するよう指導を強めた。昭和11年8月26日、関学大は国から出頭命令を受け、ベーツ第4代院長が出頭して

手続きを行うこととなった。昭和12年2月3日、ついに国から関学大に御眞影が下付された。その日、ベーツ院長は学内の規程に則り、御眞影の警護のため宿直をしたという記録が残っている。関学大西宮上ヶ原キャンパスの本部棟2階にある旧院長室（原則非公開。部屋の壁には2枚の木製の扉と一枚の金属の扉が組み込まれており、開くとごんまりとした空間が姿を現す。その中にはかつて御眞影と教育勅語の謄本が収められていた。近年、ますます戦争体験者が減り、当時の記憶が風化しつつある。現代社会のなかで戦前や戦中の爪痕をどのように残したの世代に伝えるかという深刻な問題が、関学大の奉安庫を通じて問いかけられているのではないだろうか。

教授の背中

メディアの社会における役割とは 社会学部教授 阿部潔 教授

関西学院大学社会学部の阿部潔教授はメディア・コミュニケーション学を研究している。メディア・コミュニケーション学とは、メディアが社会で果たす役割について研究する学問だ。阿部教授が社会学を志したきっかけは、教授自身が中学・高校時代に受けた厳しい校則や体罰による管理教育だった。阿部教授はその環境に対して、複雑な感情を抱くとともに好奇心を持った。そこで大学に行く際、管理が当たり前になされる社会について研究したいと思い、社会学を学ぶことを決めた。

主な研究対象は、メディアが作りあげるパブリック（公共的なもの）と、そこにおいてメディアがナショナリズムに対して果たす役割形成し、鮮鋭化させる。その具体的な事例として、主にオリンピックを取り扱っている。阿部教授は、東京オリンピックが開催された1964年に生まれた。そのため常に教育の中でオリンピックに触れる機会があり、スポーツをするのも見るのも好きな子どもだった。

一方で、学校教育の中で子ども達はいまだに校則や体罰の中でスポーツを行っている。阿部教授は「ゼミでは知識を受動的に学ぶのではなく自分たちで考えることが必要だ」と語る。教授がオリンピック研究を始めたように、学生自身が最終的に何をしたいのか、何を学びたいのかを改めて考えてゼミを選んでみてはどうか。

阿部教授は「ゼミでは知識を受動的に学ぶのではなく自分たちで考えることが必要だ」と語る。教授がオリンピック研究を始めたように、学生自身が最終的に何をしたいのか、何を学びたいのかを改めて考えてゼミを選んでみてはどうか。



阿部教授Ⅱ本人提供



道を開いてくれた関学での出会い

「学生時代の出会いがあった、今の自分がある」と語るのは、写真記者の山田耕一さん（58）。1989年に関西学院大学経済学部を卒業後、産経新聞に入社し、現在も写真撮影を続けている。

写真に興味を持ったのは高校生の時だ。関学大経済学部卒業のジャーナリストの野中章弘さんが、ある雑誌の巻頭グラフでカンボジア内戦下の子供たちを特集していた。当時はフィルム時代の時代。安ホテルのバスルームを暗室にし、吊るされていく現象されたネガ。

ガ。その描写にぞくぞくとして、「これしかない」と思った。大学1年目の終わりに写真の夢を捨てきれず、アルバム委員会の扉を叩いた。2年目からはほぼ毎日、四季の風景や部活動、関学大の日常の撮影に明け暮れた。

仲間にも恵まれ、2年上の先輩たちは新聞やテレビといったマスコミの道に進んで、常に自分の夢に近い人に見えていた。転機は3年生の春。毎日新聞にすすんだ先輩の紹介で選抜高校野球のバイトで試合やベンチ入りできなかった選手をスタンドから撮影。そのうち一枚が写真雑誌「毎日グラフ」の高校野球総集編に掲載された。おのずと写真記者を意識するようになった。

入社後は、それまで未経験の事件、災害や文化、政治、皇室など様々な分野取材。海外取材も北極圏から南極圏まで二桁をこえた。なかでも印象に残っているのは天皇皇后両陛下（現在の天皇さまご夫妻）と政府専用機で欧州8カ国を外遊したことだ。「相手の立場で物事を考え

る」という意識があれば、自分に跳ね返ってきて、偶然の出会いが道を開いてくれると山田さんは感じている。「二度とない出会いを大切にしたい」と語った。

関西学院大学ボランティア活動支援センターヒューマン・サービス支援室は6月12日、西宮上ヶ原キャンパスのH号館304教室で能登半島地震現地ボランティア参加学生による報告会を開催した。能登半島地震現地ボランティアは学生たちの「被災地のために何か出来ないか」という声を受けて実現した活動だ。報告会ではボランティアに同行した支援室スタッフの岡秀和さん（30）が活動の全体的な内容を紹介し、ボランティアに参加した4名の学生が活動内容を感じたことを報告した。

参加した1人の学生は「現地での状況の説明している様子Ⅱ6月12日、西宮上ヶ原キャンパスH号館304教室、酒井隼平撮影



能登半島ボランティア活動 被災地に思いを馳せる

参加学生は被災者と交流し、その悩みや現状を知った。被災者のなかには交流会疲れしている人もおり、一方通行なボランティア活動は避けなければいけないという気付きを得たという学生の声もあった。学生はボランティア活動を通して「支援」の意味を学んだ。

参加学生は被災者と交流し、その悩みや現状を知った。被災者のなかには交流会疲れしている人もおり、一方通行なボランティア活動は避けなければいけないという気付きを得たという学生の声もあった。学生はボランティア活動を通して「支援」の意味を学んだ。



山田耕一さんⅡ本人提供

この学生に
注目!
チュー

「音」が導いてくれた ありのままの自分でいられる場所

シンガーとして活動する藤原里音さん（社会学部2年）が歌と出会ったのは、幼い頃通っていた教会だった。

キリスト教徒が多いアメリカに住んでいた藤原さん。彼女はそこでアフリカンアメリカンを中心に大衆に愛されてきたゴスペルソウルに出会う。後にゴスペルのソウル要素を現代風に変化した音楽R&Bに引かれ、シンガーを目指すことを決意した。

今年5月29日には初のシングルをリリースした。また6月には関西での初の路上ライブを開催した。

「『音』から離れるほどに呼び戻される感覚があった」と藤原さんは語る。「自分がこうなりたい」という強い意志を信じることを決意し、音楽業界で夢を追いかける覚悟を決めた。

藤原さんが初めて制作したオリジナルソングでは、アーティストとして歩み始めた人生の基盤にある想いが歌われている。春は新しい出会いや挑戦の季節であるとともに、



藤原里音さん本人提供

セージを曲に込めた。歌詞には「あなた」と「私」という言葉が多くつづられている。人それぞれ違う人生を歩む中で、「あなた」を自分なりの相手や必要な形に置き換えて聴いてみてほしい。5月29日リリースの「Back To Me」は誰かの毎日を支える1曲になることだろう。（山本紗佑里）

天守模型制作 建築学部への挑戦

関西学院大学建築学部は、学部長である八木康夫教授（63）を中心に宇和島城（愛媛県宇和島市）の天守模型の制作を進めている。

宇和島城は1601年に築城の名手として名高い藤堂高虎によって築かれた城だ。その後城主が変わった際に一度建て替えられた天守は現存しており、今日では日本の現存十天守の一つとして数えられている。

現在城中に置かれている天守模型は江戸時代に作られたものだ。老朽化等の原因から作り直すことが決まり、今回

ンバスの父親であるJ・W・ランバスは生前、宇和島市に現存する中町教会の建立に携わっていた。その後も教会で初代牧師を務め、生涯を通じて宇和島市と深く親交を保つ

ていた人物であった。

関学と宇和島市の交流について、「何か不思議な縁のようなものを感じた」と八木教授は笑顔で語った。（宇本拓夢）



模型制作の調査を進める学生の様子。八木康夫教授提供



「自分で汗をかくて情報を集めることが大切」 丸キャン就活塾にかける思い

関西学院東京丸の内キャンパスは2月17日から4月6日にかけて「丸キャン就活塾『先輩にこんな質問』」を開催した。第1回は大阪梅田キャンパスにて対面とオンラインの併用。第2回以降は東京丸の内キャンパスとオンラインで開催した。35人の関学生が参加した。

本企画は、本学のOBOGが登壇する就活セミナーだ。最初の2回は基礎編と題し、コミュニケーションの作法のレクチャーを実施した。3回目以降は実践編として、司会

の小池洋次さん（73）、（関学フェロー）がOBOGヘインタビューする形式で進んだ。講座では参加者がOBOGへ質問する時間が設けられ、講座終了後は直接コンタクトを取りやすくなった。

商学部を卒業した株式会社商船三井常務執行役員CIOや経済学部を卒業した三菱UFJ銀行銀座支店営業部長を始める各業界で活躍するOBOGが登壇した。

本企画の目的は、関学生がOBOGと繋がる機会を設けることだった。企画した、サ

テライトキャンパス運営部長京丸の内キャンパス運営課課長の木村勝さんは、関学生と関東圏の学生との間で、就活において格差があることに危機感を抱いている。大手企業の本社が集中する東京では、学生とOBOGの距離が近い。情報収集や人脈の構築において関西の学生は圧倒的に不利だ。

木村さんは「早くに自分で汗をかくて情報を集めることが大切。その行動が次に繋がる。社会に出てからも役に立つ」と力説した。（林諒太郎）

おすすめのお店探し隊！ VOL.37

唯一無二の南国感 Cafe Sugar Soi



Cafe Sugar Soiの様子。2月28日、Cafe Sugar Soi、森友紀撮影

阪急仁川駅近くにある色鮮やかで目を引く外観の「Cafe Sugar Soi」は2023年10月にオープンした。

看板メニューのカレーは丸ごと肉のチキンカレーやキーマカレーなど全6種類。その全てを異なる仕込み方、作り方で一つずつ丁寧に仕上げているところが最大の特徴である。他にもチュロスやクレープなどのスイーツや、「飲むチーズケーキ」といったドリンクデザートメニューがある。コーヒーやスムージーなどドリンクの種類

も豊富だ。

木材を基調とした心を癒す店内は、バリ島のビーチフロントをイメージしている。使用している木材はバリ島から輸入したものだ。色とりどりの壁面は手描きで細部にまでこだわって、唯一無二の南国感あふれる空間に仕上げた。2階の客席は大きな窓から日がよく差し込み、明るく開放感がある。

カフェがオープンして約4カ月。若者からお年寄りまで多くの人が訪れる「地域の憩いの場」になりつつある。オーナーの奥村安廣さんはさらにコミュニティを拡大することを目指している。

「Cafe Sugar Soi」は新聞販売店の跡地に開店した。次はこのカフェ



期間限定のチョコプレートリーヌ

香りに出会って、もったいないを探して

香水交換会開催

学生団体「perfume party」は5月15日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂ロビーにて、行き場のない香水を持ち寄って交換する「香水交換会」を開催した。交換会には性別を問わず多くの人が訪れた。

代表の大道碧衣さん（商学部4年）は元々香水が好きで集めていた。しかし、ある日その香水を見て「全て使い切ることができるのか？」と我に返った。そこで大道さんは香水と以前から関心があったSDGsを組み合わせて、「perfume party」を立ち上げた。

世間で大々的に推進されているSDGs。大道さんは「SDGsと掲げれば何でもありで、それは表面的なものではないのか」と疑問を感じていた。大道さんは団体の活動を通じて学生に身の回りにある「もったいない」を探し、減らしていくという意識を持ってもらうことを目的としている。

大道さんは香水の魅力は言葉のようであるところだと話す。相手を思い浮かべながら香水を選ぶ。それは「あなたがあなただからこの香りに決めた」という「コミュニケーション」だ。さらに、香りはそばにいなければ知覚できない。大道さんは「香水を振ると伝えることだと思う」と柔らかな表情で話した。

香水は自分を華やかにするだけでなく癒す効果がある。大道さんのおすめの使い方は枕元に吹きかけたり浴槽に垂らしたりすることだ。香水にはたくさんの魅力があるが、使わなければそれら

団体のメンバー11団体提供



が香ることもない。大道さんは「香水交換会で新しい香りに出会い、香水を好きになっただけでなく、その先に環境に優しくするという意識を持ってもらいたい」と意気込んだ。一度、使っていない香水がないか考えてみるのはいかがだろうか。次の開催は10月を予定している。（森友紀）

あなたらしく、自由に。

関西学院会館の結婚式

関西学院会館は新郎新婦への生涯教育の一環としてチャペルでの結婚式を執り行っている。今まで挙式した夫婦数は1900組以上だ。

関西学院会館の結婚式では学生時代の思い出が詰まったキャンパスでの前撮りや挙式ができる。新郎新婦は学生時代にキリスト教を学んだ馴染みある教授に牧師を頼むことも可能だ。

関西学院会館の目指す結婚式は新郎新婦の思いを取り入れた2人らしい結婚式だ。

ウェディングプランナーを務める早田綾花さん（29）は印象に残っているエピソードの1つとして体育会陸上競技部の卒業生である夫婦の話を挙げた。

2人が出会った思い出の場所を知ってほしいという新郎新婦の思いを反映しウェディ

時計台と第2フィールドをデザインしたウェディングケーキ 関西学院会館提供



風にアレンジした。新郎新婦が親に感謝を伝える場面では実際の表彰台をレンタルし感謝状を渡した。

早田さんは「今後の新郎新婦が幸せになるように関学を通して思い出作りができればいいなと考えている」と結婚式への思いを述べた。

関西学院会館は挙式後も夫婦の周年を記念したイベントを開催し、生涯を通じた関わりを大切にしている。

「あなたらしく、自由に。関西学院会館だからこその結婚式」。これからも関西学院会館は新郎新婦の思いに寄り添った特別な結婚式を作りあげていく。（石黒和加奈）

イースター礼拝開催

神聖な雰囲気にもまれて

関西学院大学宗教活動委員会は4月24日、西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂でイースター礼拝を挙行了した。

イースターとは、十字架にはりつけにされて亡くなったイエス・キリストがその3日後に復活したことを祝う日である。イースターは春分の日以後、最初に満月が現れた日

の次の日曜日とされており、今年は3月31日であった。

関学大は毎年4月の第4水曜日にイースター礼拝を開催している。今年は打樋啓史宗教総主事が司式を担当し、学生や教職員、一般人を含め総勢117名が参加した。

神学部の橋本祐樹准教授は礼拝を通じて愛と友情、平和と希望のメッセージを分かち

関西学院聖歌隊による演奏 4月24日、ランバス記念礼拝堂、村山諒撮影



合い、心を一つにして祈る大切さを説いた。続けて参加者

に向けて、「ともにこの素晴らしい日を祝い、喜びを分かち合いましょ」とメッセージを贈った。

礼拝では関西学院聖歌隊や関西学院ハンドベルクワイアが演奏を披露した。神聖な雰囲気の中で参加者はろうそくに火を灯し、イエス・キリストの復活を祝った。

礼拝後、参加者にはイースターエッグと呼ばれる卵の形をしたチョコレートが手渡され、受けとった人たちは和やかな表情で会場を後にした。（村山諒）

陸上競技部卒業生の新郎新婦 関西学院会館提供



関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。

SANDA AUTOMOBILE SCHOOL
SAS
SINCE 1963

兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995
E-mail:sas.1963@poppy.pcn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード